



平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年11月2日

上場会社名 マナック株式会社

上場取引所 東

コード番号 4364 URL <http://www.manac-inc.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 杉之原 祥二

問合せ先責任者 (役職名) 管理部長

(氏名) 杉之原 誠

TEL 084-954-3330

四半期報告書提出予定日 平成22年11月11日

配当支払開始予定日

平成22年12月6日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	4,751	17.8	99	—	132	—	92	—
22年3月期第2四半期	4,034	—	△111	—	△46	—	△27	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	11.47	—
22年3月期第2四半期	△3.37	—

(注) 前年第1四半期連結会計期間より連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期の数値に係る対前年同四半期増減率については、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
23年3月期第2四半期	12,147	—	8,289	—	68.2	1,031.71
22年3月期	12,471	—	8,400	—	67.4	1,045.42

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 8,289百万円 22年3月期 8,400百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	2.50	—	5.00	7.50
23年3月期	—	2.50	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	5.00	7.50

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,500	6.6	180	37.7	270	14.9	170	△9.4	21.16

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、〔添付資料〕P. 3「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 無

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年3月期2Q 8,625,000株 22年3月期 8,625,000株

② 期末自己株式数 23年3月期2Q 589,845株 22年3月期 589,819株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年3月期2Q 8,035,164株 22年3月期2Q 8,035,549株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、〔添付資料〕P. 3「1. 当四半期の業績予想等に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報等	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、エコポイント制度などの景気対策の効果や中国など新興国の経済成長に伴い、輸出や生産が緩やかに回復傾向にあることから、持ち直しの動きが続きました。一方では急激な円高の進行、デフレ圧力など経済減速の懸念材料から景況感は、依然厳しい環境にあります。

化学業界においても同様の環境下にあり、最悪期は脱したものの、依然低調に推移しております。

このような情勢のもとで当社グループは、急激な需要構造の変化に対応するため、新しい時代に向けた「新たな技術立社のマナック」を模索して、新規マーケットの開拓や研究開発、生産工程の見直しなど事業基盤の再構築を進めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の当社グループ業績は、世界的な景気後退の影響を受けた前年同四半期に比しては、増収増益となり、売上高は4,751百万円（前年同四半期比+717百万円、17.8%増）、営業利益は99百万円（前年同四半期は111百万円の損失）、経常利益は132百万円（前年同四半期は46百万円の損失）、四半期純利益は92百万円（前年同四半期は27百万円の損失）となりました。

各セグメントの業績は次のとおりであります。

①ファインケミカル事業

ファインケミカル事業については、電子材料、情報記録材料や医薬中間体など幅広いフィールドを取り扱っております。新規研究開発のスピードアップを行っており、前年同四半期比では緩やかな回復基調となったものの、本格的な需要回復には至っておりません。その結果、売上高は2,591百万円、セグメント利益は247百万円となりました。

②難燃剤事業

難燃剤事業については、家電製品やIT関連製品のプラスチック分野に使われる材料が、前年同四半期を上回る需要となり、需要に応じた生産を続けていることから順調に推移いたしました。その結果、売上高は1,580百万円、セグメント利益は175百万円となりました。

③ヘルスサポート事業

ヘルスサポート事業については、人工透析液や試薬剤、食品添加物など医療、食品分野で使用される塩化ナトリウム、塩化カリウムなどを生産しておりますが、国内需要は横ばいで推移しております。その結果、売上高は579百万円、セグメント利益は76百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①連結財政状態の変動状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて324百万円減少し、12,147百万円となりました。これは主に有形固定資産が減価償却により184百万円減少したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べて213百万円減少し、3,857百万円となりました。これは主に短期借入金が返済により174百万円減少したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べて110百万円減少し、8,289百万円となりました。これは主に評価・換算差額等が円高の進行や株式相場の低迷により161百万円減少したことによるものです。

②連結キャッシュ・フローの変動状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、当第2四半期連結累計期間期首に比べて426百万円減少し、1,454百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は479百万円となりました。

これは主として、売上債権が198百万円減少したこと、非資金項目である減価償却費の計上が186百万円あったことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は568百万円となりました。

これは主として、金銭の信託の取得によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は326百万円となりました。

これは主として、短期借入金や長期借入金の返済によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年5月21日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

なお、この会計基準の適用に伴う損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	831,608	758,842
受取手形及び売掛金	2,785,441	2,991,754
有価証券	711,022	1,410,787
金銭の信託	1,450,000	750,000
商品及び製品	1,010,718	1,068,493
仕掛品	429,293	385,468
原材料及び貯蔵品	514,445	452,192
繰延税金資産	103,069	84,158
その他	104,509	73,711
貸倒引当金	△2,462	△2,503
流動資産合計	7,937,647	7,972,906
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,155,768	1,209,035
機械装置及び運搬具(純額)	616,411	747,318
土地	1,146,675	1,146,717
建設仮勘定	37,043	30,392
その他(純額)	79,404	85,995
有形固定資産合計	3,035,304	3,219,460
無形固定資産	5,429	6,012
投資その他の資産		
投資有価証券	772,235	869,882
関係会社長期貸付金	110,800	111,100
繰延税金資産	90,790	82,520
その他	195,469	209,841
貸倒引当金	△600	△600
投資その他の資産合計	1,168,695	1,272,745
固定資産合計	4,209,430	4,498,217
資産合計	12,147,077	12,471,123

(単位:千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,180,807	1,097,594
短期借入金	1,200,449	1,374,864
未払法人税等	69,118	51,539
賞与引当金	124,932	92,401
その他	382,267	409,639
流動負債合計	2,957,574	3,026,038
固定負債		
長期借入金	400,296	511,976
退職給付引当金	231,999	225,885
役員退職慰労引当金	54,729	55,329
負ののれん	141,897	162,168
その他	70,620	89,602
固定負債合計	899,542	1,044,961
負債合計	3,857,116	4,071,000
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,757,500	1,757,500
資本剰余金	1,947,850	1,947,850
利益剰余金	5,004,511	4,953,132
自己株式	△243,339	△243,328
株主資本合計	8,466,522	8,415,154
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△106,674	10,740
為替換算調整勘定	△69,886	△25,772
評価・換算差額等合計	△176,561	△15,031
純資産合計	8,289,961	8,400,122
負債純資産合計	12,147,077	12,471,123

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	4,034,492	4,751,612
売上原価	3,377,990	3,835,920
売上総利益	656,502	915,692
販売費及び一般管理費	768,193	815,854
営業利益又は営業損失(△)	△111,691	99,837
営業外収益		
受取利息	3,711	2,601
受取配当金	7,637	7,265
有価証券売却益	572	—
負ののれん償却額	18,931	20,271
受取ロイヤリティー	21,251	26,558
助成金収入	12,876	—
その他	16,419	22,577
営業外収益合計	81,399	79,274
営業外費用		
支払利息	13,357	14,951
為替差損	73	25,027
その他	2,640	6,226
営業外費用合計	16,071	46,204
経常利益又は経常損失(△)	△46,363	132,907
特別利益		
前期損益修正益	12,636	—
固定資産売却益	—	746
投資有価証券売却益	4,939	1,491
その他	1,070	110
特別利益合計	18,646	2,347
特別損失		
固定資産除却損	1,972	1,304
投資有価証券評価損	—	588
ゴルフ会員権評価損	648	—
その他	600	85
特別損失合計	3,220	1,977
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△30,937	133,278
法人税、住民税及び事業税	7,023	63,532
法人税等調整額	△10,907	△22,457
法人税等合計	△3,884	41,075
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△27,053	92,203

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△30,937	133,278
減価償却費	223,159	186,614
負ののれん償却額	△18,931	△20,271
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△9,100	△600
賞与引当金の増減額(△は減少)	△2,430	32,531
退職給付引当金の増減額(△は減少)	7,800	6,114
貸倒引当金の増減額(△は減少)	—	△41
受取利息及び受取配当金	△11,349	△9,866
支払利息	13,357	14,951
為替差損益(△は益)	73	33,123
有形固定資産除売却損益(△は益)	1,972	557
投資有価証券売却損益(△は益)	△4,939	△1,491
売上債権の増減額(△は増加)	61,152	198,833
たな卸資産の増減額(△は増加)	175,112	△62,232
仕入債務の増減額(△は減少)	159,564	85,208
その他	△97,847	△71,646
小計	466,656	525,064
利息及び配当金の受取額	11,095	10,129
利息の支払額	△13,361	△14,981
法人税等の支払額	△20,537	△40,711
営業活動によるキャッシュ・フロー	443,853	479,501
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△114,894	△264,972
定期預金の払戻による収入	104,767	114,944
有価証券の売却による収入	—	450,000
金銭の信託の取得による支出	—	△1,250,000
金銭の信託の解約による収入	—	450,000
有形固定資産の取得による支出	△95,523	△43,651
投資有価証券の取得による支出	△14,949	△38,525
投資有価証券の売却による収入	29,319	12,293
子会社株式の取得による収入	225,440	—
貸付金の回収による収入	3,000	300
その他	572	788
投資活動によるキャッシュ・フロー	137,733	△568,823
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△98,744	△161,315
長期借入れによる収入	300,000	—
長期借入金の返済による支出	△112,172	△124,780
自己株式の取得による支出	△176	△10
配当金の支払額	△20,089	△40,175
財務活動によるキャッシュ・フロー	68,816	△326,281
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	△11,313
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	650,403	△426,917
現金及び現金同等物の期首残高	1,877,496	1,881,134
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,527,900	1,454,217

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

	ファインケミカル事業 (千円)	難燃剤事業 (千円)	ヘルスサポート事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	2,210,177	1,142,763	681,552	4,034,492	—	4,034,492
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	(—)	—
計	2,210,177	1,142,763	681,552	4,034,492	(—)	4,034,492
営業利益又は営業損失(△)	156,833	50,780	81,560	289,173	(400,864)	△111,691

(注) 1. 事業区分の方法

事業は、製品の系列及び市場の類似性を考慮して区分しております。

2. 各区分に属する主要な製品

事業区分	主要製品
ファインケミカル事業	機能性材料及び医薬品とそれらの中間体
難燃剤事業	プラスチック用難燃剤とそれらの関連製品
ヘルスサポート事業	人工透析液用原料

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

前第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

	アジア	計
I 海外売上高(千円)	659,089	659,089
II 連結売上高(千円)		4,034,492
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	16.3	16.3

(注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 各区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。

アジア……台湾、中国、韓国

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

【セグメント情報】

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、取り扱う製品の種類別に「ファインケミカル事業」「難燃剤事業」「ヘルスサポート事業」の3つに事業を区分し、それぞれが戦略を立案して事業活動を展開しております。これら3つの事業区分とそれらにおける主要製品は以下のとおりです。

ファインケミカル事業……機能性材料及び医薬品とそれらの中間体
 難燃剤事業………プラスチック用難燃剤とそれらの関連製品
 ヘルスサポート事業………人工透析液用原料

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント			
	ファインケミカル事業	難燃剤事業	ヘルスサポート事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	2,591,928	1,580,443	579,240	4,751,612
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	2,591,928	1,580,443	579,240	4,751,612
セグメント利益（営業利益）	247,600	175,849	76,767	500,217

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	500,217
全社費用（注）	△400,380
四半期連結損益計算書の営業利益	99,837

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社管理部門に係る費用等であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）

該当事項はありません。